

委員長方針

一般社団法人摂津青年会議所

総務委員会

委員長 金沢 信秀

私たち一般社団法人摂津青年会議所は、明るい豊かな摂津のまちを築くために創立以来47年間、奉仕・修練・友情の三信条のもと、あらゆる角度から地域発展に寄与する事業に取り組んでまいりました。しかし昨今の会員数の減少や新型コロナウイルスの蔓延、地域に根ざした活動をする私たちにとっては死活問題となってしまいました。それでも私たちの活動はその歩みを止めずに、更なる高みを目指し2022年度がスタートを切ります。

総務委員会が一番大きな担いとして1月、8月に開催する例会総会があります。1月度例会・総会では予算が承認され、事業の報告がなされ、これからの事業計画が発表される場です。定款に記載している通り総会は、すべての正会員をもって構成される決議機関であることをメンバー全員の共通認識とし、総会に出席することの重要性をメンバーに伝え、1月度例会総会に参加するメンバー一人ひとりが1年のビジョンを明確にし、志高く胸を張って2022年度のスタートが切れるよう、例会・総会の設営、運営を行います。

新入会員研修会、11月度例会では、JCの歴史や活動を知ってもらい、各種会合へ参加する事の大切さ、定款諸規定に記載されていることの重要性を理解し、11月度例会を共に作り上げて、二年目以降も楽しく笑顔で活動出来る人財になってもらえるよう、委員会一丸となって取り組んでまいります。

8LOM合同例会や親睦事業は、主管ではありませんが各種会合には積極的に参加し、摂津は小粒だけどピリッと辛い。そんなインパクトを残せるよう例会、親睦事業を他LOMの仲間たちと作り上げたいと意気込んでまいります。

会員拡大については委員会でこまめに拡大リストの更新を心掛け、常に新しい情報を共有し委員会の枠を超えてLOMを巻き込みながら取り組んでまいります。

むすびに、22歳で入会した私は、今年で18年目を迎えます。振り返れば数え切れない程の思い出、楽しかったこと、辛かったこと、何度も挫けて投げ出しそうになったこと、何度もやめてしまおうかと頭を抱えたこともありました。でも、そこにはいつもJCの三信条がありました。「のぶ、今はしんどいかもしれんけど、やりきった奴だけが味わえる美味しい酒があるんやで！一緒に飲もうぜ！」忘れもしない西本修歴代の言葉でした。

「奉仕」という名の地域での活動、「修練」という形で降り注ぐ個々への挑戦・そんな中で生まれる「友情」というかけがえの無い仲間たち。JC活動にはこんなに素敵なのが詰まっていたんだ！そう思えたから、最終年度まで楽しく過ごせてきたと感じます。ラスト一年、これまでの経験を全てぶつける。そんな気概を胸に、摂津青年会議所を更なる未来へつなげる縁の下の力持ちとして、委員会を運営してまいります。全メンバー巻き込み型で精一杯活動してまいりますので、皆様のご指導・ご鞭撻とご協力をよろしくお願い申し上げます。